

第7回関東ブロックワークショップ 「農学分野データサイエンス教育における PBLの事例と課題」

茨城大学
農学分野データサイエンス教育事業
ワーキンググループ
主査：岡山 毅

趣旨説明

本事業「農学分野データサイエンス教育事業」
の取組みと本日のワークショップの位置づけ

農学分野データサイエンス教育事業について

- **事業名**

農業と地域の体力強化のためのデータサイエンティスト育成

- **事業目的**

茨城大学農学部では、キャンパスに隣接する附属農場および地域の生産者、企業と連携して実課題・実データを活用した農学分野のデータサイエンス教育カリキュラムの構築およびそれに資する教材を作成するとともに、それらを他の農学分野教育機関に普及していく。

- **事業期間**

R2（2020）からR9（2027） 予定

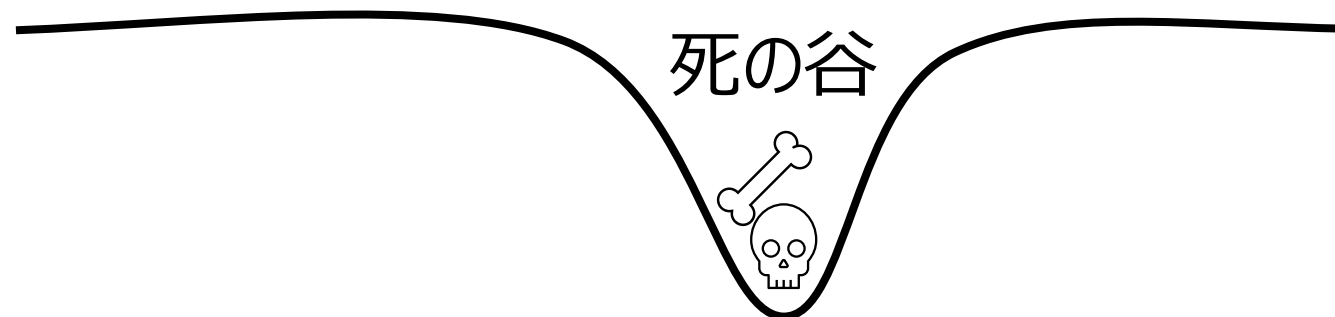
数理・データサイエンス・AI 応用基礎レベル教育の基本的考え方

各専門分野の特性に応じた演習やPBL（Project Based Learning）等を効果的に組み入れることにより、実践的スキルの習得を目指す。



データサイエンス
教育

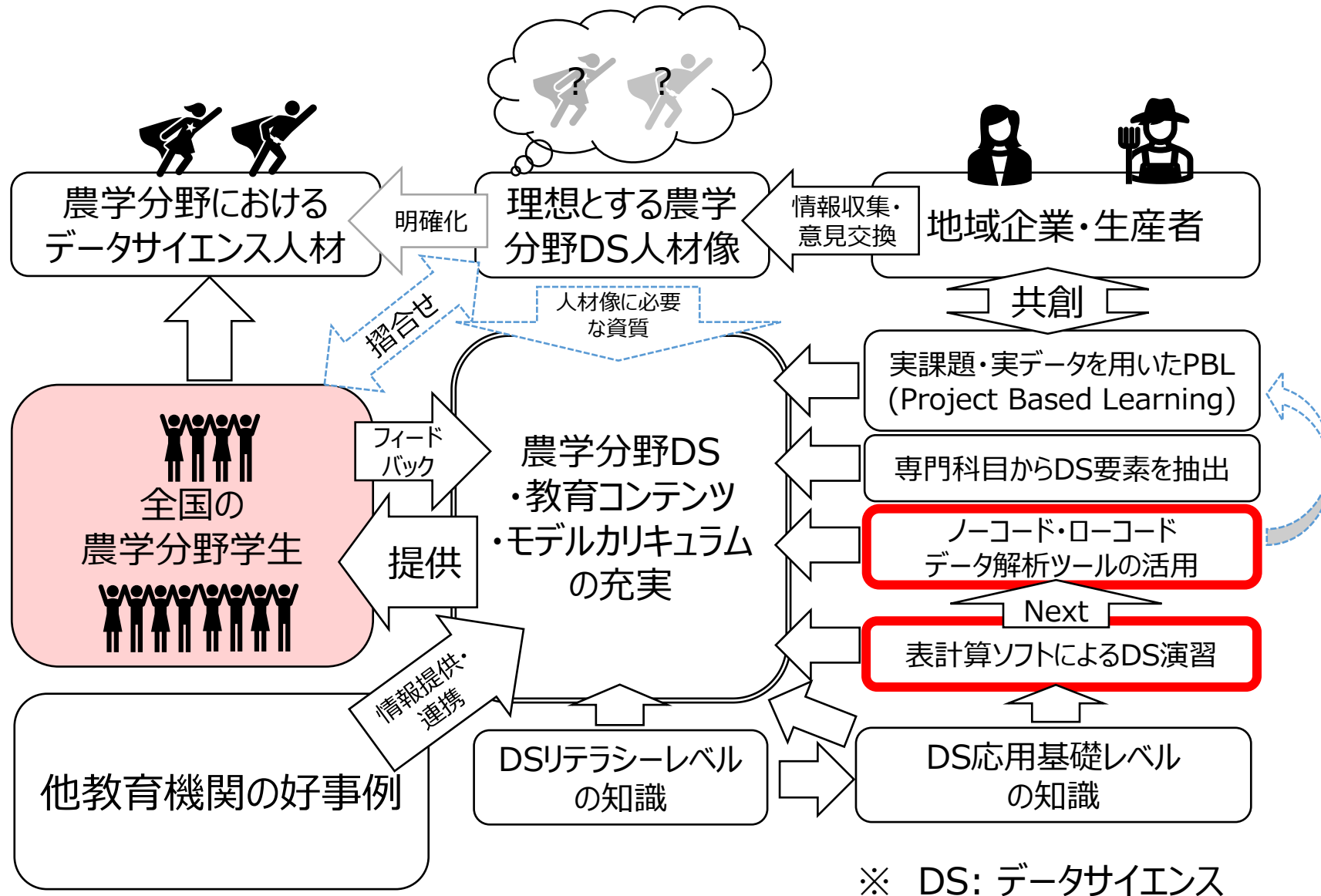
現場・研究



本事業取組みの歴史

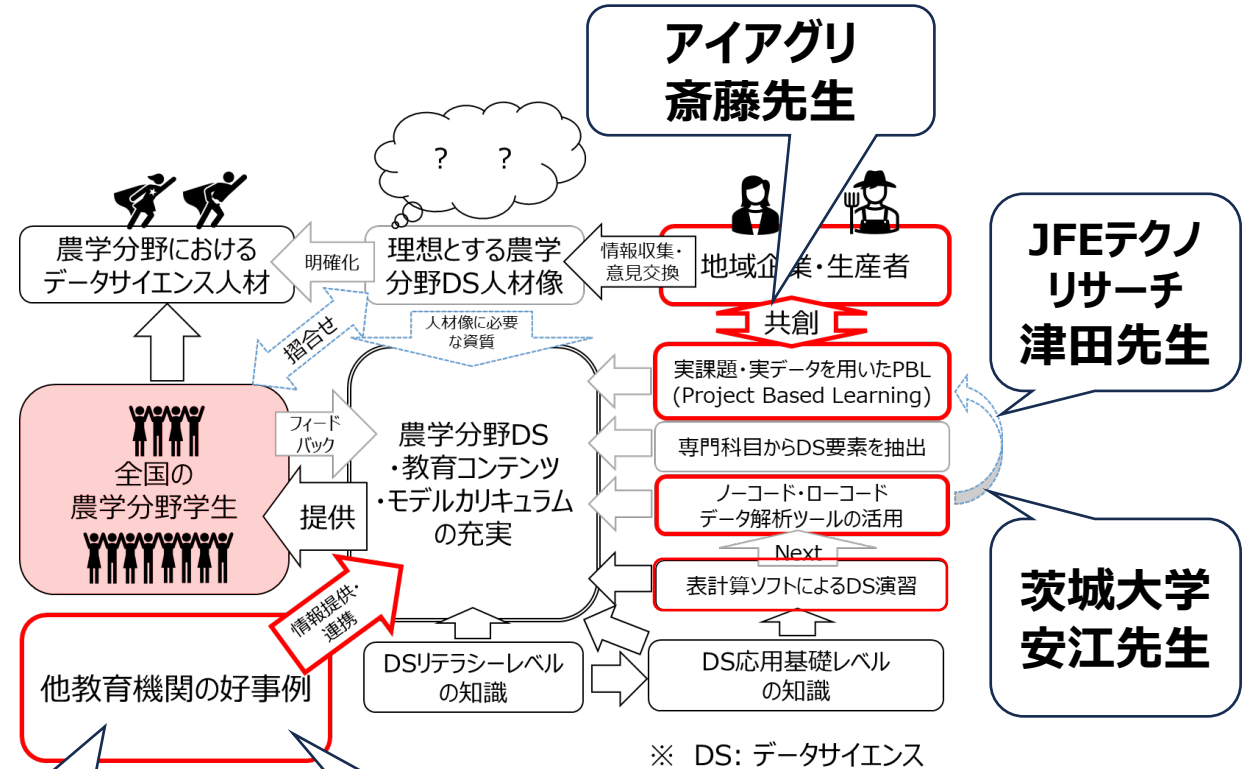
年度	概要
2020	統計数理研究所名誉教授 田村義保氏を特任教授として採用。 「農学分野データサイエンス教育事業キックオフワークショップ」の開催
2021	座談会「数理、情報系が苦手な学生へのデータサイエンス教育」 「物体認識AI勉強会」（茨城大学，東京農工大学，福島大学）の開催。 「GIS×AI勉強会」の開催（茨城大学，東京農工大学，福島大学）
2022	「農学分野データサイエンス教育プログラム」を開始 スマート農業関連企業と教材開発 「最先端のスマート農業企業人と考える農学分野のデータサイエンス人材像とデータサイエンス教育」 茨城大学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」が MDASH（リテラシーレベル）に認定
2023	本学部の「農学分野データサイエンス教育プログラム」がMDASH （応用基礎レベル）に認定 西日本アライアンス大学間共同PBLに参加 JFEテクノリサーチと教材開発中

本事業の全体概要



本日ワークショップの内容

16:10-17:00	事例紹介	<p>獣害対策を題材としたPBLの紹介 川添 充（大阪公立大学）</p> <p>大規模ハウレンソウハウス群の土壌分析PBLの紹介 齊藤 竜馬（アイアグリ）</p> <p>ヤギの行動解析PBLの紹介 津田 和呂（JFEテクノリサーチ） 安江 健（茨城大学）</p>
17:00-17:25	総合討論	<p>コーディネータ：小松崎 将一（茨城大学）</p>



大阪公立大学
川添先生

参加者の
みなさま